

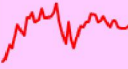
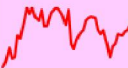
注目ポイント

- ✓先週のドル円は一進一退で推移。トランプ米大統領がFRBのクック理事の解任を発表し、FRBの独立性への懸念からドルが売られる場面もあったが、その一方で持ち高調整目的の円売りなどもあった。先週の日経平均はもみ合いながら小幅に上昇。28日には、前日の米半導体大手エヌビディアの決算発表を受けて朝方は安く始まったものの、売り一巡後は押し目買いが優勢となった。
- ✓今週は週末5日に8月の米雇用統計の発表を控えている。各市場では積極的な売買が手控えられて、日経平均やドル円は狭いレンジでの値動きになると予想される。米雇用統計が弱い結果となれば、FRBの9月FOMCでの大幅な利下げが意識されて外為市場ではドル売り圧力が高まる可能性がある点に要注意。(北田英治)

2025年8月25日 ~ 2025年8月29日

市場・指標			8月25日 ~ 8月29日		8月29日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	43,201	42,138	42,718	+85	+0.2%	
	 米国	NYダウ (ドル)	45,683	45,192	45,545	-87	-0.2%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	24,377	23,882	23,902	-461	-1.9%	

市場・指標			8月25日 ~ 8月29日		8月29日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.630	1.600	1.600	-0.015	
	 米国	10年 (%)	4.31	4.20	4.23	-0.03	
	 ドイツ	10年 (%)	2.78	2.68	2.72	+0.00	

市場・指標			8月25日 ~ 8月29日		8月29日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		148.18	146.66	147.05	+0.11	
	 ユーロ (円)		172.66	171.12	171.86	-0.33	
	 豪ドル (円)		96.24	95.28	96.19	+0.81	

市場・指標			8月25日 ~ 8月29日		8月29日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	1,943	1,915	1,918	-6	-0.3%	
	 米国	NY原油 (ドル)	65.10	62.95	64.01	+0.4	+0.5%	
		NY金 (ドル)	3,519	3,396	3,516	+98	+2.9%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年9月1日 ~ 2025年9月5日

株式

もみ合いか

 日経平均
【予想レンジ】 42,000 円 ~ 43,000 円

- 先週の日経平均はもみ合いながら小幅に上昇。週初25日には、前週末の米国株の大幅高を受けて、日本でも半導体関連株などに買いが入り、日経平均は上昇した。ただ26日には前日の米株安を受けて、日本株も売りが優勢となった。28日には、米半導体大手エヌビディア株が決算発表後に下落したことを受けて、朝方は安く始まったものの、売り一巡後は押し目買いが優勢となった。週末29日には利益確定の売りなどが優勢となり、日経平均は反落。
- 今週の日経平均はもみ合いか。週末5日に8月の米雇用統計の発表を控えており、米経済の状況やFRBの金融政策の行方を見極めたいとのスタンスから、積極的な売買が手控えられよう。



 金利
(国債)

強含み(上昇)もみ合いか

 10年国債利回り
【予想レンジ】 1.580 % ~ 1.650 %

- 先週の国内金利は低下。日銀の利上げ観測などが債券相場の重荷となり、27日には新発10年物国債利回りが一時1.63%に上昇。2008年10月以来およそ17年ぶりの高水準をつけた。しかし28日には、財務省が利回りの上昇が続く超長期債の発行を減らすとの思惑が浮上。前日に米長期金利が低下したこともあり、国内金利が低下した。
- 今週の国内金利は、強含みもみ合いか。日銀の利上げ観測や日本の財政悪化懸念などから、引き続き国内金利に上昇圧力がかけやすいと予想される。注目は、2日の10年国債の入札と4日の30年国債の入札。



 為替
(米ドル)

もみ合いか

 米ドル/円
【予想レンジ】 146.00 円 ~ 148.00 円

- 先週のドル円は一進一退。週初25日には、持ち高調整を目的とした円売りドル買いが優勢となった。ただ26日には、トランプ米大統領がFRBのクック理事の解任を発表したことを受けてFRBの独立性への懸念が広がり、ドルが売られる場面もあった。週末29日には、持ち高調整の円売りが出る一方で、FRBの独立性を巡る不透明感からドルが売られる場面もあった。
- 今週のドル円はもみ合いか。週末5日の米雇用統計を控え、狭いレンジでの値動きが続くと予想される。米雇用統計が弱い結果となればFRBの9月FOMCでの大幅な利下げが意識されて、ドル売り圧力が高まる可能性がある。



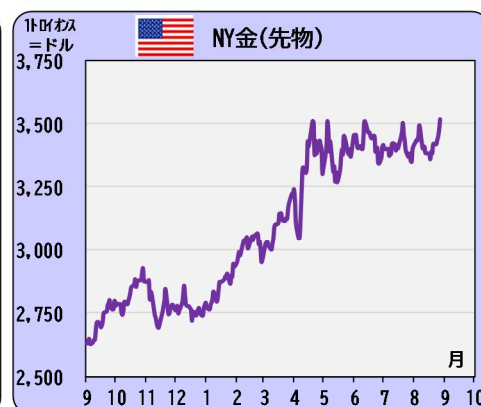
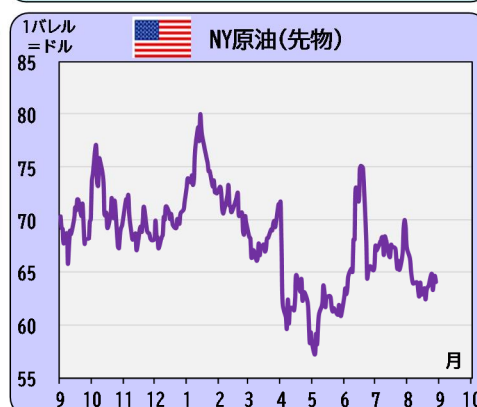
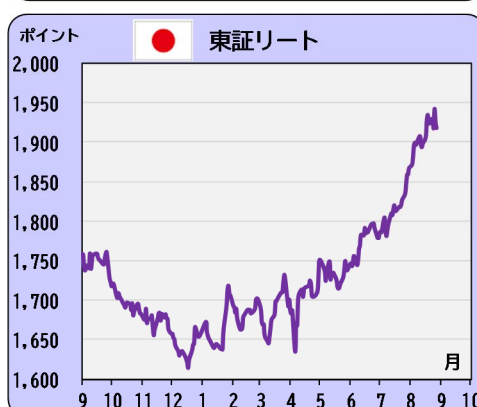
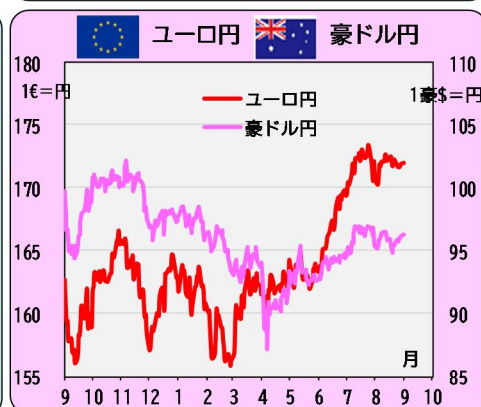
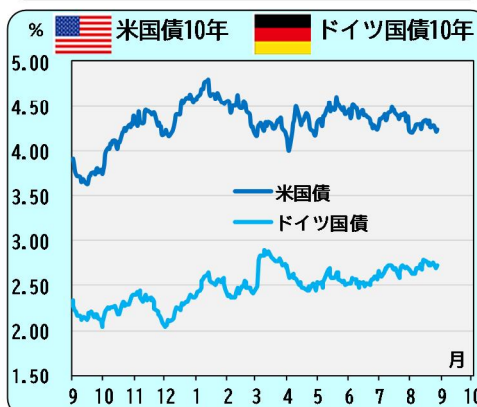
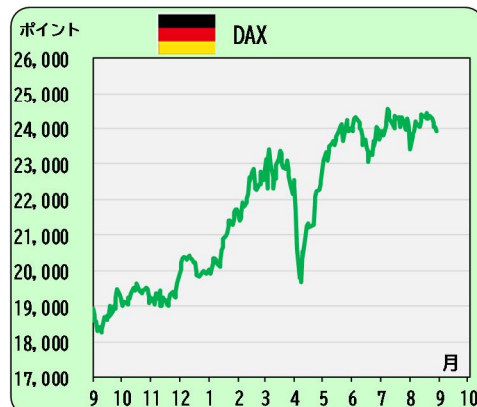
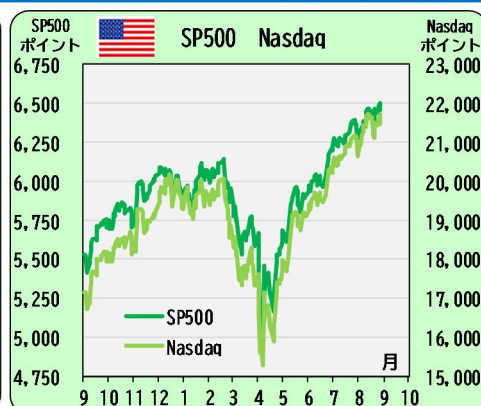
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
9/1(月)		米国: 祝日(レイバーデー)
9/2(火)	国債入札(10年)	米国: ISM製造業景況指数(8月)
9/3(水)		米国: 地区連銀経済報告(ページブック)
9/4(木)	国債入札(30年)	米国: 貿易収支(7月) 米国: ISM非製造業景況指数(8月)
9/5(金)	毎月勤労統計(7月) 景気動向指数(7月) 家計調査(7月)	米国: 雇用統計(8月)



③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		
FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率		

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。